



Panasonic®

取扱説明書

ドライブレコーダー

 Strada

品番 CA-DR03D

ご使用前に、「安全上のご注意」(P.3～6)を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- この説明書は大切に保管してください。

適合機種 (2019年11月現在)

- CN-F1D9D
- CN-F1X10BD
- CN-F1X10D
- CN-RA06D/WD
- CN-RE06D/WD
- CN-RX06D/WD

詳しくは、お買い上げの販売店にご確認ください。



保証書付き

YEFM0412754 F0819-0

安全上のご注意

はじめに

使いかた

取付と配線

必要なとき

もくじ

内容物の確認	2
安全上のご注意	
安全上のご注意	3
はじめに	
使用上のお願い	7
各部のなまえとはたらき	9
SDメモリーカードについて	10
使いかた	
ドライブレコーダーの設定をする	12
常時録画(動画)	14
駐車録画(動画)	14
手動で動画を録画・静止画を撮影する	15
保存したファイルを再生する	16
ファイルの移動・削除	17
取付と配線	
取り付け・配線の前に	18
作業の順序	18
取り付け位置について	19
上下角度と前後位置を調整する	20
仮止めする	21
ドライブレコーダー本体を貼り付ける	22
配線のしかた	24
取り付け後の確認と調整	25
必要なとき	
故障かな!?	27
商標などについて	28
仕様	29
保証とアフターサービス	30

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品名	数量
①	 ドライブレコーダー本体(電源コード付)	1
②	 束線バンド(200mm)	10
③	 コードホルダー(150mm)	1
④	 ウレタンテープ(100mm x 200mm)	2
⑤	 クリーナー	1
⑥	 microSDHCメモリーカード 8GB (本体に挿入済み)	1
⑦	 microSD-SDアダプター*1	1
⑧	 ドライブレコーダーステッカー	1

*1 パソコンなどで使用することができます。ナビゲーションには挿入しないでください。

主な添付品

取扱説明書	1
-------	---



- 本書に記載の寸法は、おおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄やリサイクルの処理をしてください。

安全上のご注意



必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき

警告



本機はDC12Vアース車専用です
DC24V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする
作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの⊖端子を外す
外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
*ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど

ドライブレコーダー本体は、保安基準に従って取り付ける
視界不良による事故の原因となります。

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する
誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

取り付けや配線をするとき



警告



アースコードを車両側のアース部分に確実にねじ止めする
アースコードが確実にねじ止めされていないと、火災や感電、故障の原因となります。

本体を車体から取り外す場合は、貼付面の四隅を持つ
本体部や可動部を持ってはがそうとすると、本機が破損するおそれがあります。



視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない

交通事故やけがの原因となります。

*ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近・ハザードスイッチなど

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない
カメラ装置などの動作を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。
車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

*ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように配線してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。



分解や改造をしない
交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

- 分解禁止
- コードの被覆を切って他の機器の電源をとるのは、絶対におやめください。
 - アースコードの改造や、他の機器とのアース接続は絶対におやめください。

取り付けや配線をするとき



注意



必ず、付属品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

しっかり確実に取り付ける
走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。
取り付ける場所の水気や汚れ(ほこりや油など)は、取り除いてください。
取り付けの状態(接着やねじのゆるみなど)を、ときどき点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する
断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。



振動のある不安定な場所には、取り付けない
走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付け
ない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。

ご使用になるとき



警告



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に依頼してください。

**ドライブレコーダー本体の温度を確認してから、
角度調整やmicroSDメモリーカードの抜き差しをする**
高温環境での放置（直射日光などが長時間あたっていた場合）や連続使用した場合などは、高温になりやけどをするおそれがあります。



運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない
必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。
交通事故の原因となります。

故障や異常な状態のまま使用しない
画像が映らない、音が出ない、異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。お客様による修理は、絶対におやめください。

カード類は、乳幼児の手の届くところに置かない
誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない
特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。
水や、湿気・ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。



注意



本機を車載用以外には、使用しない
発煙や発火、感電、けがの原因となります。
落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない
故障や火災の原因となります。

ドライブレコーダーについて

- 本機のみでは使用できません。必ず本機にmicroSDメモリーカードを挿入し、ナビゲーションに接続してからご使用ください。
※ 付属のmicroSDメモリーカード、または本機で使用できるmicroSDメモリーカード(P.10)をご使用ください。
※ microSDメモリーカードの初期化を促すメッセージが表示されたときは、本機で初期化してください。(P.12~13)
- 全ての状況において映像の品質や記録を保証するものではありません。
- 車のエンジンをかけた直後(ACC ON)やエンジンを切った直後(ACC OFF)は、本機が動作しない場合がありますが、しばらく経つと動作を開始します。
- 録画した映像は、事故などの証拠としての効力を保証するものではありません。
- 夜間のナビゲーション画面の光、ダッシュボードに反射した太陽光などがガラスに反射し、映像に写り込む場合があります。
- LED式信号機は、目に見えない速さで点滅しています。そのため、映像には信号機が点滅または消灯しているように見える状態で撮影される場合があります。映像から信号機の状態が判別できない場合は、前後の映像や周辺の車両の状態などから状況を判断してください。
- LED式信号機などが点滅または消灯しているように見える状態で記録されても、当社は一切の責任を負いません。
- 推奨動作温度(-10℃~+60℃)の範囲外で使用すると、映像が黄色く表示されるなど、正常に動作しなかったり、録画を停止する場合がありますので、推奨動作温度の範囲でご使用ください。
- 冷暖房を入れた直後など、結露で本機のレンズがくもる場合があります。
- 本機のレンズを手で触らないでください。
- 本機を譲渡、または処分するときは、プライバシー保護のため、「SDカードの初期化」を行い、microSDメモリーカード内のデータを消去してください。(P.12~13)

電源について

- 本機は電源ボタンがありません。エンジンをかけると自動で電源が入ります。
- 「駐車録画」(P.13)が「する」に設定されている場合、本機は車のエンジンを切った状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「駐車録画」の機能を自動的に停止する場合があります。

著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 撮影した映像や画像は、個人で使用する以外は、権利者に無断で使用できません。個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。
- 本機を利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律・条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。

使用上のお願い

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の駐車録画機能を使用したことによる、車のバッテリー上がりについては、補償できません。
- 次の場合、補償はできません。
 - ・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - ・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに microSD メモリーカードに記録されていたファイルが変化・消失した場合

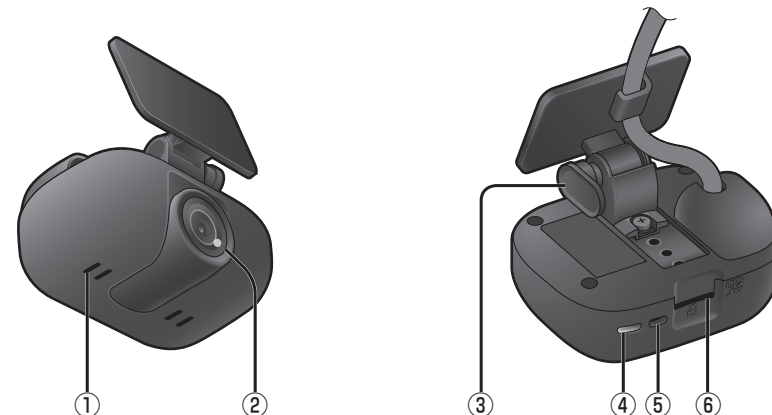
本機の操作は、接続したナビゲーションから行います。

- 本書では、パナソニック カーナビステーション CN-F1X10BDと接続した場合を例に説明しています。
- タッチキー(タッチパネル上のタッチ操作用のボタン)とハードキー(ナビゲーションユニット/ディスプレイユニットなどのボタン)を、下記のように描き分けています。

例) **ドライブレコーダー** : タッチキー
AUDIO **MENU** **MAP** : ハードキー

各部のなまえとはたらき

電源ボタンはありません。エンジンをかけると電源が入り、自動的に録画を開始します。



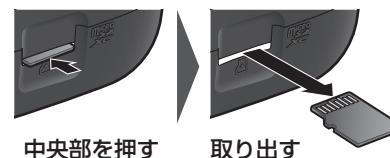
①	マイク	●動画録画時に、音声を録音します。
②	カメラ	●動画録画・静止画撮影に用います。少ない光量でも録画・撮影ができます。
③	カメラロックレバー	●上下の角度や前後の位置を調整するときに操作します。 ※調整するときは、必ずロックを解除し(レバーを上側に倒して押し込む)、調整を終えた後、必ず固定してください(押し込んだ指を離し、レバーを下側に倒す)。
④	LEDランプ	●本機の状態がLEDで案内されます。 ・点灯(緑色): 録画中 ・点滅(緑色): 録画停止中 ・点灯(赤色): microSDメモリーカードが未挿入または異常状態 ・点滅(赤色): 本機が異常状態
⑤	スピーカー	●起動時や急加速・急減速情報を記録したときなどにブザーが鳴ります。 ※音量は調整できません。
⑥	microSDXCメモリーカード挿入口	●本機の映像・音声を記録するmicroSDメモリーカードを挿入します。 ※お買い上げ時は、付属のmicroSDHCメモリーカード(8 GB)が挿入されています。

●付属のカードアダプターは、パソコンなどで使用するときに必要に応じてご使用ください。

microSDメモリーカードの出し入れ

必ず車のエンジンを切り(ACC OFF)、LEDランプが消灯した状態で出し入れをしてください。

取り出しかた



中央部を押す 取り出す

挿入のしかた



カチッと音がするまで
まっすぐに差し込む
端子側を上

SDメモリーカードについて

本機で使用できるSDメモリーカード

- microSDXCメモリーカード(Class6以上・128GB以下)^{*1*2}
 - microSDHCメモリーカード(Class6以上・8GB～32GB)^{*1}
 - *1 SD規格準拠カードのみ使用できます。
 - *2 容量が256GB以上のmicroSDXCメモリーカードは、本機では使用できません。
- ※本書では、上記のメモリーカードを「microSDメモリーカード」と表記しています。

■初めて使用するときやナビゲーションに初期化を促すメッセージが表示されたときは、本機で初期化してください。(→P.12～13「SDカードの初期化」)

お願い

- 本機で使用しているmicroSDメモリーカードをパソコンなどで読み込むときに、microSDメモリーカード内にドライブレコーダー用の管理ファイルが表示される場合がありますが、これらのファイルの移動や削除、ファイル名の変更などはしないでください。

お知らせ

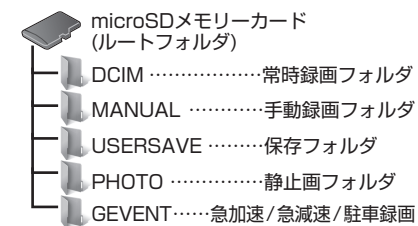
- 規格に準拠したmicroSDメモリーカードでも、本機では使用できない場合があります。
- 4GB以下のmicroSDメモリーカードは、本機では使用できません。

取り扱いについて

- データの読み書き(録画や再生、初期化など)をしているときに、microSDメモリーカードを本機から取り出さないでください。
 - microSDメモリーカードの初期化中に車のエンジンを切らないでください。
 - 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
 - データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
 - 長時間使用すると、microSDメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
 - 市販のmicroSDメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
 - microSDメモリーカードの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
 - microSDメモリーカードにシールやラベルを貼り付けしないでください。
 - microSDメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができなくなる場合があります。特にドライブレコーダーでの使用は、不良セクター^{*3}などが発生しやすく、平均寿命より短くなる場合があります。ナビゲーションの起動時などに、microSDメモリーカードの初期化や交換を促すメッセージが表示されたら、メッセージに従って初期化または市販のmicroSDメモリーカードに交換することをおすすめします。
- *3 長期間の使用でメモリーが損傷し、データを保存できなくなった領域。

階層について

本機で録画された動画および撮影された静止画は、microSDメモリーカードの右記の階層に保存されています。



お願い

- microSDメモリーカード内のフォルダ・ファイルの名称は、変更しないでください。

記録できるファイル数について

常時録画ファイルは、microSDメモリーカードの空き容量がなくなるまで記録され、いっぱいになると古いファイルから消去されます。他のファイルは、microSDメモリーカードの容量に応じて、記録できるファイル数が右記のとおり異なります。

データの種類	容量	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
手動録画/保存データ ^{*1}		15	30	60	120	240
静止画 ^{*1}		300	300	300	300	300
急加速/急減速/駐車録画 ^{*2}		15	30	60	120	240

*1 ファイル数が上限に達すると、それ以上記録できません。
*2 ファイル数が上限に達すると、古いデータから消去されます。

パソコンでの再生について

ドライブレコーダーで記録した動画や画像は、パソコンで再生することができます。

推奨環境

- Microsoft® Windows® 7/8/8.1/10のいずれかを搭載していること
- ドライブレコーダーに付属のmicroSDHCメモリーカード(8GB)が読み込めること
※必要に応じて、ドライブレコーダーに付属のカードアダプターをご使用ください。
- 動画(MP4)および静止画(JPEG)が再生できること
(再生ソフトによっては、再生できない場合があります。)

お願い

- ドライブレコーダーで使用しているmicroSDメモリーカードをパソコンで読み込むときに、microSDメモリーカード内にドライブレコーダー用の管理ファイルが表示される場合がありますが、これらのファイルの移動や削除、ファイル名の変更などはしないでください。

ドライブレコーダーの設定をする

1 ナビゲーションの **MENU** を押す

2 情報・設定 を選ぶ

● ツートップメニュー



3 情報 を選ぶ

● 情報・設定メニュー



4 ドライブレコーダー を選ぶ

- 録画を停止します。

● 情報メニュー



5 設定 を選ぶ

● ドライブレコーダー画面



6 ドライブレコーダー設定画面から 各項目を設定する (右記)

- **上下** で設定画面が切り換わります。

お知らせ

- 地図画面に、手動で動画の録画や静止画の撮影をするためのタッチキー(ダイレクトボタン)を表示させることができます。(P.15)

■ 設定項目一覧

[太字>: お買い上げ時の設定]

ドライブレコーダー設定画面	項目	設定内容/操作												
	画質	■ 画質の目安 <table border="1"> <thead> <tr> <th>解像度*1</th> <th>フレームレート</th> <th>ファイルサイズ</th> <th>最大録画時間*3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[高画質] 1 920×1 080</td> <td>28 fps*2</td> <td>約75 MB/1分</td> <td>約95分</td> </tr> <tr> <td>[標準] 1 280×720</td> <td>14 fps</td> <td>約25 MB/1分</td> <td>約320分</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1 手動撮影(静止画)の場合、設定した画質の解像度でJPEGとして記録されます。 *2 駐車録画の場合、14 fpsで記録されます。 この場合のファイルサイズは約60 MB/1分です。 *3 付属のmicroSDHCメモリーカード(8 GB)を使用した場合</p>	解像度*1	フレームレート	ファイルサイズ	最大録画時間*3	[高画質] 1 920×1 080	28 fps*2	約75 MB/1分	約95分	[標準] 1 280×720	14 fps	約25 MB/1分	約320分
		解像度*1	フレームレート	ファイルサイズ	最大録画時間*3									
[高画質] 1 920×1 080	28 fps*2	約75 MB/1分	約95分											
[標準] 1 280×720	14 fps	約25 MB/1分	約320分											
音声録音	「 する 」: 録画中、音声を録音する 「 しない 」: 録画中、音声を録音しない													
手動録画の自動停止	「 1分 」: 手動録画開始後、1分で自動停止する 「 3分 」: 手動録画開始後、3分で自動停止する 「自動停止しない」: 手動録画時に自動停止しない													
	動画情報表示	記録ファイル再生中の動画情報表示について、「する/しない」を設定します。 ● 選ぶごとに、ON(する)/OFF(しない)が切り換わります。												
	急加速・急減速	急加速・急減速した場合で、動画情報を表示「する」/「しない」												
	駐車録画	駐車録画した地点で、動画情報を表示「する」/「しない」												
	事故多発地点	事故多発地点で、動画情報を表示「する」/「しない」												
	合流地点	合流地点で、動画情報を表示「する」/「しない」												
急カーブ	急カーブで、動画情報を表示「する」/「しない」													
急加速・急減速の感度	1/3 で、急加速・急減速の測定感度を調整する [調整範囲: 1(低感度)~3~5(高感度)]													
急加速・急減速の感知音	「 する 」: 急加速・急減速を記録すると、ブザーを鳴らす 「 しない 」: 急加速・急減速を記録しても、ブザーを鳴らさない													
起動音	「 する 」: 本機の電源が入ると、ブザーを鳴らす 「 しない 」: 本機の電源が入っても、ブザーを鳴らさない													
取付調整	調整する : 自動的に本機の加速度センサーを最適化する ※ 本機の取り付け後、および角度を変更した場合は、平らな場所に停車して必ず行ってください。最適化されないまま使用すると、加速度センサーが正しく動作せず、急加速・急減速の録画や駐車録画が正しく行われぬおそれがあります。(P.26)													
SDカードの初期化	初期化する : 本機で使用しているmicroSDメモリーカードを初期化し、おおよその寿命などの管理ができる状態にする (メモリーカード内のすべてのファイルが削除されます。) ※ 初めてmicroSDメモリーカードを使用するときや、microSDメモリーカードを交換したときなどに行ってください。													
設定初期化	初期化する : ドライブレコーダーの設定をお買い上げ時の状態に戻す (録画・撮影された記録ファイルは削除されません。)													
	駐車録画	「 する 」: 駐車中に振動を検知すると、自動で録画する 「 しない 」: 駐車中、録画しない												
	駐車録画のお知らせ	「 する 」: ACC ON後に駐車中録画があったことを、メッセージ表示でお知らせする 「 しない 」: メッセージ表示をしない												
	駐車録画の感度	1/3 で、振動を検知する感度を調整する [調整範囲: 1(低感度)~3~5(高感度)]												
	駐車録画の時間	駐車録画の記録時間を設定する [調整範囲: 10秒/30秒/1分]												
	駐車録画の無効時間	駐車録画モードになるまでの時間を設定する [調整範囲: 1分/3分/5分] ● ACC OFF後、駐車録画モードになるまでは、振動を検知しても録画は開始されません。												

使いかた

ドライブレコーダーの設定をする

常時録画 (動画)

本機の電源が入ると、自動的に録画を開始し、1分ごとに記録ファイルをmicroSDメモリーカードへ保存します。

microSDメモリーカードの容量がなくなると、自動的に古い記録ファイルから順に自動削除して繰り返し保存し続けます。

- 常時録画を開始すると、本機のLEDランプが緑色に点灯します。
- 手動録画した記録ファイル(P.15)、保存フォルダに移動した記録ファイル(P.17)は、自動削除されません。
- 常時録画で記録された、急加速・急減速情報のあるファイルは、通常は自動削除されません。ただし、microSDメモリーカードの空き容量がない状態で、新たに急加速・急減速情報のある映像を記録した場合は、古い急加速・急減速情報のある記録ファイルが自動削除される場合があります。

お知らせ

- 本機の動作状態に応じて、ナビゲーション画面の情報バーに以下のマークが表示されます。



- : 常時録画中 (緑色)
- : 手動録画中 (赤色)
- : 録画停止中

駐車録画 (動画)

駐車中 (ACC OFF中) に車両に他の車が当たったり、いたずらなどの振動を検知すると、自動で録画を開始します。

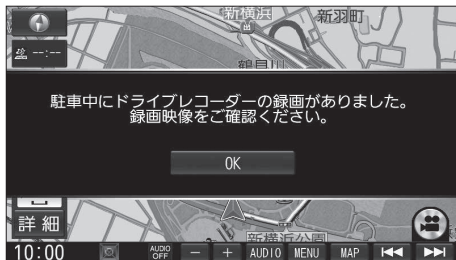
- 駐車録画の設定については→P.13

お知らせ

- 「駐車録画の無効時間」(P.13)が短い場合、車のエンジンを切ってから (ACC OFF) 降車、荷物の出し入れなどを行うと、振動を検知して録画が開始される場合があります。そのときは、「駐車録画の無効時間」を長めに設定してください。(「駐車録画の無効時間」の間は、振動を検知しても録画を開始しません。)

■ 駐車中に駐車録画があったときは

「駐車録画のお知らせ」(P.13)が「する」に設定されていると、車のエンジンをかけたとき (ACC ON)、駐車録画があったことをお知らせする画面が表示されますので、録画内容をご確認ください。



手動で動画を録画・静止画を撮影する

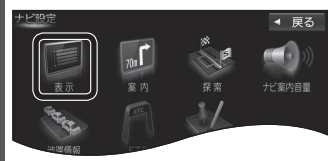
ナビゲーションの「ダイレクトボタン」の設定を変更して、地図画面に本機の映像を手動で動画として録画/静止画として撮影するタッチキーを表示できます。

- ナビゲーションのランチャーメニューにダイレクトボタンの機能を割り当てることもできます。

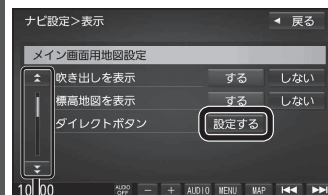
ダイレクトボタンを設定する

1 情報・設定メニュー (P.12) からナビ設定を選ぶ

2 表示を選ぶ

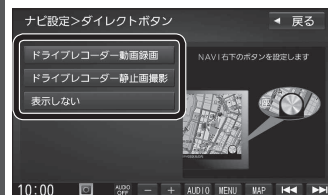


3 ダイレクトボタンの設定するを選ぶ



スクロールして項目を表示させる

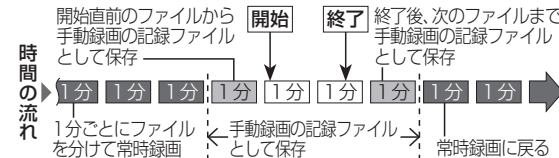
4 ダイレクトボタンに割り当てる機能を選ぶ



- **ドライブレコーダー動画録画**
動画録画タッチキーを表示
- **ドライブレコーダー静止画撮影**
静止画撮影タッチキーを表示
- **表示しない**
ダイレクトボタンは表示されません。

手動で動画を録画する

手動で動画を録画すると、常時録画で保存されている記録ファイルを手動録画の記録ファイルに置き換えます。手動録画の記録ファイルは自動削除されません。



準備

- 「ダイレクトボタン」を「ドライブレコーダー動画録画」に設定してください。(左記)

地図画面で

をタッチする



- 動画の録画を開始します。

「手動録画の自動停止」(P.13)が「1分」/「3分」に設定されている場合は、設定された時間になると自動的に録画を停止します。

「手動録画の自動停止」が「自動停止しない」に設定されている場合は、手動で停止させるまで録画を継続します。

■ 手動で録画を終了させるには

地図画面で

をタッチする



- 動画の録画を停止します。

手動で静止画を撮影する

準備

- 「ダイレクトボタン」を「ドライブレコーダー静止画撮影」に設定してください。(左記)

地図画面で

をタッチする



- タッチした瞬間の静止画が撮影されます。

保存したファイルを再生する

1 ドライブレコーダー画面(P.12)から再生を選ぶ

2 ドライブレコーダー再生リストからファイルを選び、再生を選ぶ

全表示：常時録画・手動録画の両方のデータを表示

手動録画：手動録画のデータのみ表示

「保存フォルダ」のファイルリストに切換
動画/静止画を切り換える



ファイル名(記録日時)

↑ ↓ : ページごとに切換
+1時間 -1時間 : 1時間ごとに切換

記録された動画情報をマークで表示

📍 : 手動録画された

P : 駐車録画された

🚦 : 急加速・急減速情報がある

🚨 : 事故多発地点情報がある

📍 : 合流地点情報がある

📍 : 急カーブ情報がある

選んだファイルの再生を開始します。

動画再生画面

速度メーター
録画地点のおおよその速度をグラフ表示

録画日時 / 位置情報 / 動画情報

録画した地点 リストに戻る



再生中のファイルを
削除する

再生/一時停止

前/次のファイルに切換

加速・減速メーター
録画地点の加速・減速(加速度)を、
6段階の色の広がり度でグラフ表示
(加速度が強いほど色が広がる)

お知らせ

●動画画面(右画面)をタッチすると、全画面で動画を表示します。再度タッチすると、もとの画面に戻ります。

静止画再生画面

撮影日時 / 位置情報

撮影した地点 リストに戻る



再生中のファイルを
削除する

前/次のファイルに切換

撮影した地点を登録する

撮影した地点を目的地に設定する

お知らせ

●静止画面(右画面)をタッチすると、全画面で静止画を表示します。再度タッチすると、もとの画面に戻ります。

ファイルの移動・削除

ファイルを保存フォルダへ移動する

自動削除されたくない記録ファイルを保存フォルダへ移動させます。
保存フォルダに保存されたファイルは、自動削除されなくなります。

1 ドライブレコーダー再生リスト(P.16)から、移動させたいファイルを選び、保存を選ぶ



2 はいを選ぶ

3 OKを選ぶ

●選んだファイルが保存フォルダ(P.11)へ移動します。

フォルダ内のファイルを全て削除する

1 ドライブレコーダー再生リスト(P.16)から、削除したいフォルダのリストを表示させ、全削除を選ぶ



2 はいを選ぶ

●選んだフォルダ内の全ファイルが削除されます。

使いかた

保存したファイルを再生する / ファイルの移動・削除

取り付け・配線の前に 作業の順序

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。(P.2)
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- 盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法が合った工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 接続する機器の説明書も、よくお読みください。

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

お願い

- カメラのレンズを直接手で触らないでください。また、鋭利な工具がレンズにあたらないように注意してください。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- コードを引き回す際は、高熱部や車体の金属部との接触を避け、結束バンドや市販のテープなどで要所を固定してください。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。(P.31)
- 各種アンテナ(ラジオ、GPS)、レーダー探知機など、各種電子機器の近くには取り付けないでください。
- コードは、ナビゲーションの各種アンテナコード(地上デジタル、ラジオ、GPS)とは別々に配線してください。一緒に束ねるとアンテナの受信感度が低下したり、ナビゲーションの映像・音声にノイズが入る原因となります。

作業の順序

1 バッテリーの⊖端子を外す



2 ドライブレコーダー本体の取付位置の見当を付け、上下角度・前後位置を調整する (P.20)

3 各種コード/ケーブルを接続する(仮接続) (P.24)

- 車両側との配線が容易にできる別売の中継コードなどがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

お願い

- 必ずアースコードを最初に接続してください。
- ショート事故防止のため、電源コネクターへの接続は、必ず他の配線を済ませてから最後に行ってください。



4 仮止めする (P.21)

5 ドライブレコーダー本体を貼り付ける (P.22)

6 バッテリーの⊖端子をもとに戻す

お願い

- バッテリー端子取り付け用ナットは、寸法が合った工具を使用し、しっかりと締め付けて固定してください。

7 車のエンジンをかけ、取り付け後の確認と調整をする (P.25)

※作業終了後、確実に取り付け・配線がされていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。

取り付け位置について

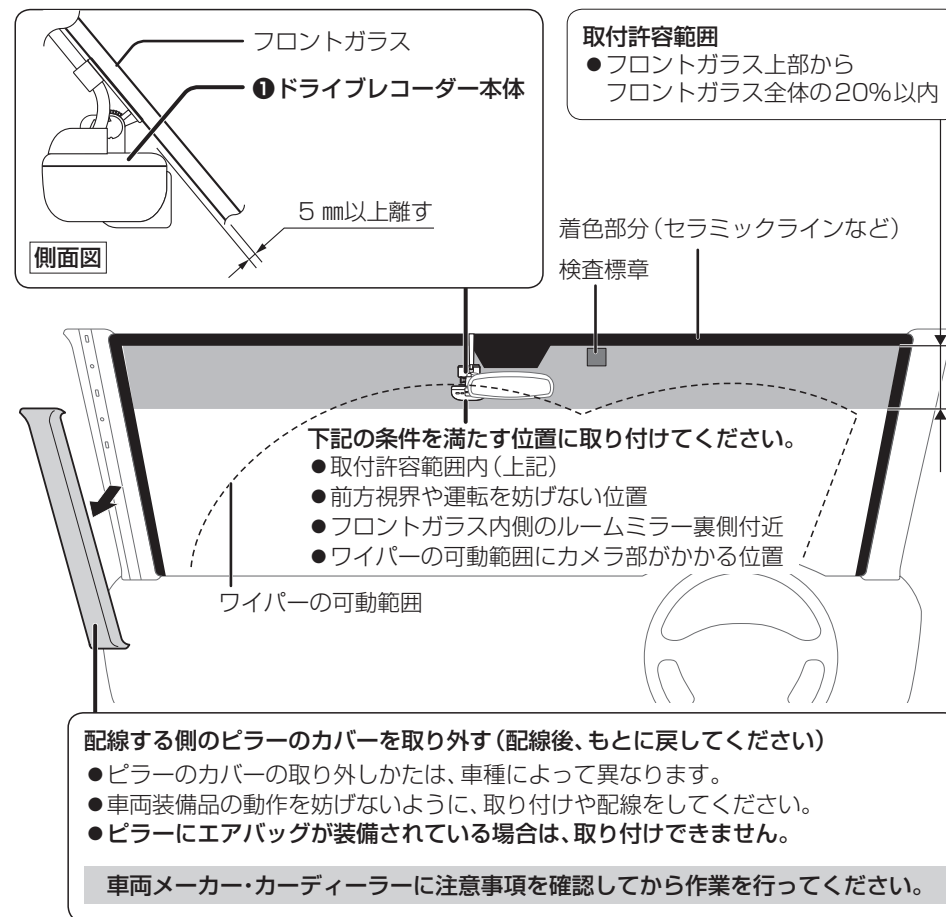
■ 性能を十分に発揮するために、下記を守って取り付けてください。

- 検査標章などと重なったり、映らないように取り付けてください。
- ワイパーの可動範囲内が映るように取り付けてください。雨天などのとき、鮮明に録画できない場合があります。
- フロントガラスの着色部分(セラミックラインなど)が映らないように取り付けてください。
- 本機のLEDランプが確認でき、microSDメモリーカードが出し入れできる位置に取り付けてください。
- 指定の位置や寸法内に取り付けられない場合や、車載カメラ装置などが装備されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 国土交通省の定める保安基準*1に適合させるため、必ず取付許容範囲内(下図の■部)に取り付けてください。

*1 道路運送車両の保安基準 第29条(窓ガラス)

最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください。



取付と配線

取り付け・配線の前に 作業の順序 取り付け位置について

上下角度と前後位置を調整する

1 ドライブレコーダー本体のロックを解除する

- 1.ねじを取り外す
- 2.カメラロックレバーを矢印の方向に倒す
- 3.カメラロックレバーを押し込む

2 取付位置の見当を付け、フロントガラスにドライブレコーダー本体をあてがい、大まかな上下角度と前後位置を調整する

- 裏紙はまだはがさないでください。
- カメラロックレバーは、引っぱったり、無理な力を加えたりしないでください。

調整のしかた

カメラロックレバーを押し込んだまま

位置・角度を調整する

- 1.上下角度を調整する
- 2.前後位置を調整する
- 3.カメラロックレバーを戻す

フロントガラス

●調整範囲：20°～70° (5°刻み)

●4段階で調整できます。

カメラロックレバーを押し込んでいた指を離す

●カメラロックレバーがバネの力で元の位置まで押し出されます。

下に倒す

■ 上下角度と前後位置のめやす

ドライブレコーダー本体が地面と水平になるようにフロントガラスに取り付けたときの上下角度(A)に対して、前後位置を下表のとおり調整してください。

上下角度(A)	前後位置
65°～70°	①
55°～60°	②
45°～50°	③
20°～40°	④

3 ねじを締めて、ロックする

- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

仮止めする

1 本機とナビゲーションを仮接続する(配線のしかた→P.24)

2 ドライブレコーダー本体を市販のテーブなどで仮止めする

- 裏紙はまだはがさないでください。

市販のテーブ

①ドライブレコーダー本体

3 バッテリーの⊖端子をもとに戻し、車のエンジンをかける (ACC ON)

4 ドライブレコーダー画面(P.12)からカメラモニターを選ぶ

- 本機のカメラの映像が表示されます。
- カメラの映像が表示されない場合は、拡張ユニット情報画面からドライブレコーダーの接続状態を確認してください。(P.25)

5 映像を見ながら、ドライブレコーダー本体の貼付位置・上下角度・前後位置を微調整する(調整のしかた→P.20)

- 前方および車のボンネットの両端が映るように微調整してください。
- 微調整しても映像が適切な角度にならない場合は、手順2に戻り、仮止めからやり直してください。

ボンネットの両端

ダッシュボード

ボンネット

6 ドライブレコーダー本体の貼付位置に市販のテーブなどで印をつける

ドライブレコーダー本体の貼付位置

市販のテーブ

7 車のエンジンを切り (ACC OFF)、バッテリーの⊖端子を外す

ドライブレコーダー本体を貼り付ける

貼り付ける前に

- 貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面(ガラス面)の汚れ(ごみ・ほこり・油)などをきれいに拭き取り、指定の位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
 - ・ガラス面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
 - ・気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでガラスを温めてください。
 - ・貼り付け直後は粘着力が弱いので、必ず24時間以上、放置してください。
 - ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。

1 コードホルダーをコードに取り付ける

- コードホルダーが長い場合は、適切な長さに切断して使用してください。

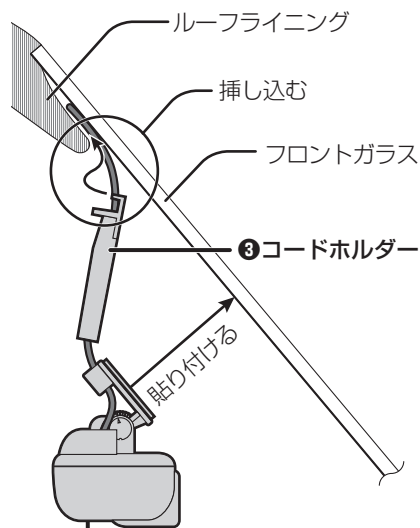


2 ドライブレコーダー本体の裏紙をはがす

- 粘着テープの糊面に手を触れないでください。接着不良によるはがれの原因となります。

①ドライブレコーダー本体

3 コードホルダーをルーファイニングの端に挿し込む



4 ドライブレコーダー本体をフロントガラスにしっかりと貼り付ける。

- しっかりと定着させるため、本機をフロントガラスに十分に押しつけてください。
- 押しつける際、本体部を押さずに、貼付面の四隅を押しつけるようにしてください。
- 車外から見て、ガラスに密着していることを確認してください。
- 貼り付けたあと、位置決めに使用した市販のテープをはがしてください。

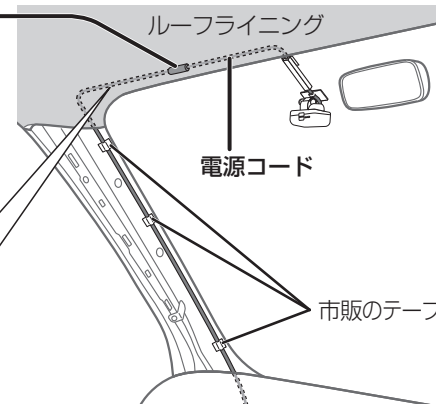
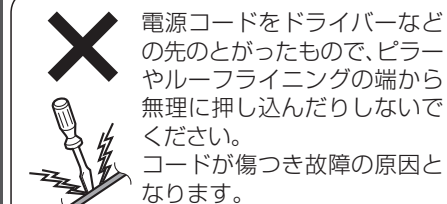
①ドライブレコーダー本体

5 コードを引き回す

- 必要に応じて付属の結束バンドや市販のテープなどでコードを固定してください。
- 他のコード類が配線されている場合はできるだけ離し、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。

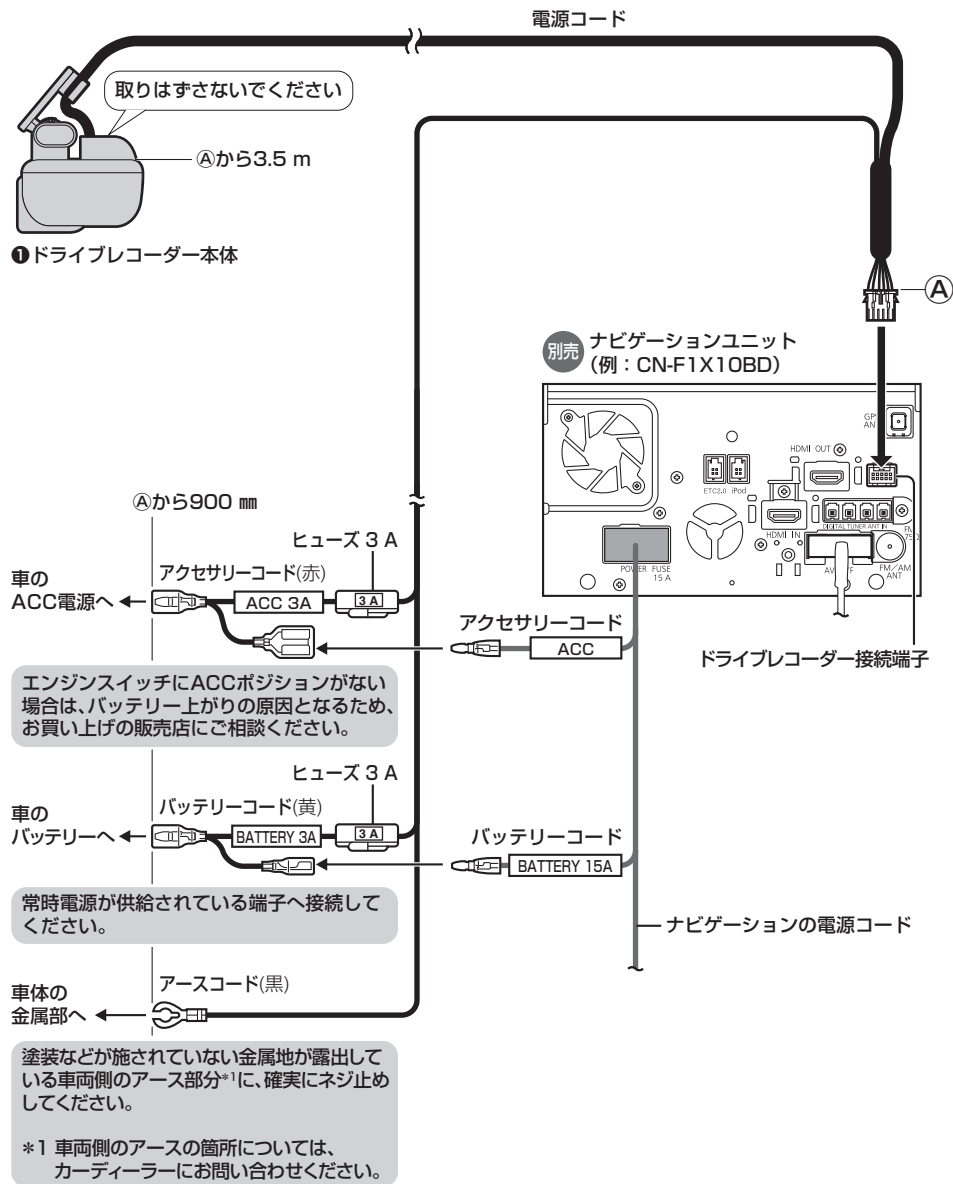
④ウレタンテープ

ルーファイニングに押し込んでもコードが外に出る場合は、コードにウレタンテープを巻き付けて、ルーファイニングから出ないようにしてください。



6 バッテリーの⊖端子をもとに戻す

配線のしかた



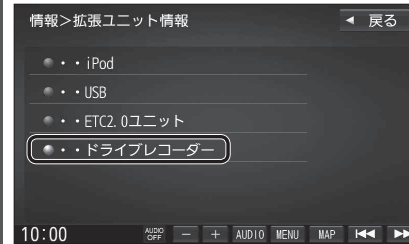
取り付け後の確認と調整

カメラの取り付けを確認する

- 1 情報メニュー(P.12) から **拡張ユニット情報** を選ぶ



- 2 拡張ユニット情報画面から **ドライブレコーダーがON表示** になっていることを確認する



- ドライブレコーダーがON表示にならない場合は、取付・配線を確認してください。

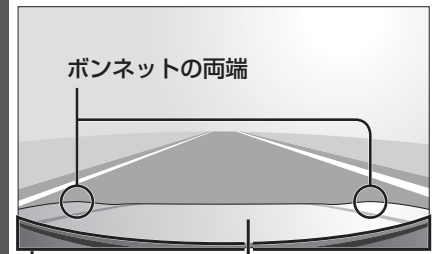
カメラの映像を確認する

- 1 **ドライブレコーダー画面(P.12)からカメラモニター** を選ぶ



- 本機のカメラの映像が表示されます。

- 2 映像が正しく映し出されていることを確認する



- 映像が正しく表示されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

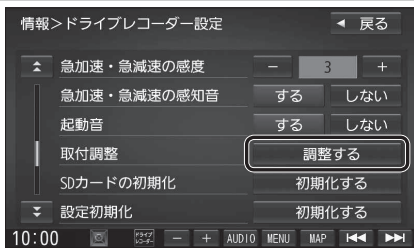
取り付け後の確認と調整

加速度センサーを最適化する

取り付け後、初めてお使いになる前や、本機の角度を変更した場合は、下記の手順で本機の加速度センサーを最適化してください。
 加速度センサーが最適化されないまま使用すると、本機の加速度センサーが正しく動作せず、急加速・急減速の録画や駐車録画が正しく行われずおそれがあります。

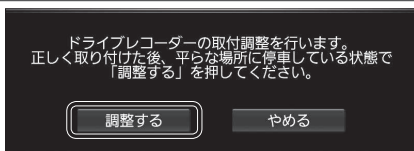
1 平らな場所に停車する

2 ドライブレコーダー設定画面(P.12)から、調整するを選ぶ



3 調整するを選ぶ

- 最適化を開始します。
- 最適化を完了して、メッセージが表示されるまで、車のエンジンを切らない(ACC OFFにしない)でください。



4 メッセージが表示されたら、OKを選ぶ



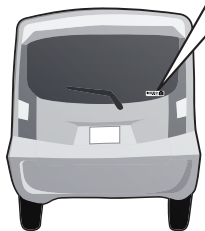
5 現在地画面を表示させ、本機の動作状態が「常時録画中」であることを確認する (P.14)

ドライブレコーダーステッカーを貼り付ける

取付後の確認と調整が終わったら、車両後部に付属のドライブレコーダーステッカーを貼り付けてください。

貼り付ける前に

- 貼り付ける前に貼付面の汚れ(ごみ・ほこり・油)などをきれいに拭き取り、はがれないようしっかり貼り付けてください。(貼りなおしできません)
 - ・貼付面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。はがれの原因となります。
 - ・貼り付け直後は粘着力が弱いので、必ず24時間以上、放置してください。
 - ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- ドライブレコーダーステッカーの糊面に手を触れないでください。接着不良によるはがれの原因となります。
- リアガラスに貼り付ける場合は、ワイパーの可動範囲外に貼り付けてください。



貼付例

故障かな!?

斜体の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼される前に、下記をチェックしてください。
 それでも異常があるときは、使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

内容	ページ
本機の電源が入らない(本機のLEDランプが点灯しない)	
車のエンジンがかかっていない。 ●エンジンをかけて(ACCをONにして)ください。	—
正しく配線されていない。 ●配線を確認してください。 ヒューズが切れている。 ●お買い上げの販売店にご相談ください。	24
画像が白っぽい、映像に白線(光の線)が出る	
太陽光を直接映したり、強い光(ヘッドライトなど)を映している。 ●映像が見えにくくなったり、光源の周囲に明るい線が現れることがあります。故障ではありません。	—
映像が見えにくい	
暗いところを映したり、部分的に明るい光を映している。 ●故障ではありません。	—
ドライブレコーダーが異常に高温になっている。 ●高温時は、機器の保護のため画像が暗くなります。温度が下がるとともに戻ります。	—
本機やmicroSDメモリーカードが温くなる	
長時間使用している。 ●正常に機能している場合は、故障ではありません。	—
走行中、頻繁に急加減速を知らせるブザーが鳴る/ブザーが鳴り続ける(ビピピ…短く8回)	
本機の加速度センサーが最適化されていない。 ●加速度センサーを最適化してください。	26
録画できない、または録画した映像が正しく表示されない	
本機にmicroSDメモリーカードが挿入されていない。 ●本機にmicroSDメモリーカードを挿入してください。	9
記録できるファイル数の上限に達している。(録画できない場合) ●手動録画した記録ファイルや保存フォルダ内の記録ファイルなどを削除してください。(削除したくない記録ファイルは、パソコンなどにコピーしてください。)	—
レンズが汚れている。 ●レンズの汚れを拭いてください。	—
microSDメモリーカードを初期化していない、または本機以外(パソコンなど)で初期化している。 ●本機で初期化してください。	12, 13
microSDメモリーカードを長期間使用している。 ●microSDメモリーカードには寿命があります。市販のmicroSDメモリーカードに交換してください。	10
録画や再生、初期化中に、本機からmicroSDメモリーカードを取り出した。 ●再度本機で初期化してください。それでも正しく動作しないときは、microSDメモリーカードが損傷している場合があります。新しいmicroSDメモリーカードに交換してください。	13
記録できる常時録画ファイルの数が少ない	
手動録画・保存データ・静止画・急加速/急減速/駐車録画の容量が大きい(ファイル数が多い)。 ●手動録画・保存データ・静止画・急加速/急減速/駐車録画のファイルをパソコンに移し、microSDメモリーカードから消去すると、常時録画できる容量が増えます。	17
車のエンジンをかけたときに(ACC ON)、駐車録画のお知らせが表示されたが、映像に振動の原因となるものが映っていなかった	
振動の原因が、ドライブレコーダーのカメラで映せる範囲外だった。 ●車両の周囲をご確認ください。	—
振動の原因が、すぐに車から離れた。 ●振動を検知してから撮影するため、振動発生の瞬間は撮影できません。	—

万一、故障や異常が起こったら

車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

必要なとき

取り付け後の確認と調整 / 故障かな!?

商標などについて

- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・ 画像情報をAVC規格に準拠して(AVCビデオ)を記録すること。
 - ・ 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。
- 詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

仕 様

ドライブレコーダー本体	
外形寸法(幅×高さ×奥行)	72 mm × 32.2 mm × 56 mm (取付部は除く)
質量	約250 g(コード含む)
推奨動作温度	-10℃～+60℃
電源	
電源電圧	DC12V マイナスアース
消費電流	280 mA
消費電力	3.4 W
カメラ部	
撮像素子	C-MOS
有効画素数	約200万画素
解像度(動画・静止画)	高画質: 1920 × 1080 標準画質: 1280 × 720
フレームレート	高画質: 28 fps (駐車録画の場合は14 fps) 標準画質: 14 fps
画角	水 平: 117° 垂 直: 63°
記録メディア	microSDHCメモリーカード(Class6以上の8 GB～32 GB) microSDXCメモリーカード(Class6以上の64 GB～128 GB)
記録形式	映 像: H.264 音 声: PCM、モノラル
ファイルフォーマット	動 画: MP4 静 止 画: JPEG

- 本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 寸法・質量はおおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 画面表示などの色は印刷物ですので実際と異なる場合があります。
- URLは、予告なく変更になることがあります。

？ 使いかた・お手入れなどのご相談

お客様ご相談センター

電話  フリーダイヤル ゴー パナソニック
0120-50-8729

■上記番号をご利用いただけない場合
045-929-0511 (有料)

受付時間 9:00～18:00 (年中無休)

FAX (有料) **045-938-1573**

受付時間 9:00～18:00
(土・日・祝日・当社休日を除く)

よくあるご質問 (FAQ)
メールでのお問い合わせ

panasonic.jp/car/navi/faq



🔧 修理に関するご相談

修理ご相談窓口

修理に関するお問い合わせは、お買い上げの
販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」
(P.31) へご連絡ください。

修理ご相談窓口サイト

[http://www.panasonic.com/jp/
support/consumer/car/repair.html](http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/car/repair.html)

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります。)
- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更することがあります。

おぼえのため、記入されると便利です。

製造番号
(Serial No.)

万一の故障や盗難時に必要です。
ドライブレコーダーの裏面にある製品銘板で、9桁の英数字をご確認ください。

()

パナソニック株式会社 オートモーティブ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

© Panasonic Corporation 2019

Printed in China